

2021年10月6日

むさしのSDGs私募債「みらいのちから」の商品内容一部改定について ～地域のスポーツを応援しコミュニティ活性化に貢献します～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2021年10月より、「むさしのSDGs私募債『みらいのちから』」（以下、「みらいのちから」）の寄付・寄贈対象先を拡大する商品内容一部改定を実施しますので、お知らせします。

「みらいのちから」は、発行企業の皆さまから当行が受け取る手数料の一部を、指定いただいた学校・団体・基金などに寄付・寄贈する寄付型私募債です。2018年9月の取扱開始以来、発行額は約180億円、寄付・寄贈額は約3,600万円に及んでおります。

今般の一部改定は、かねてよりご要望の声が高かった「スポーツチーム等の団体」を寄付・寄贈先に加えるものです。埼玉県は、多くのプロスポーツチームの本拠地となっており、また、県民のスポーツ参加率も高い^注全国有数の「スポーツ県」です。

このようななか、当行では「みらいのちから」を通じ、地域に密着したスポーツチームを応援していくことで、コミュニティの更なる活性化や県民の健康増進などに貢献します。なお、「スポーツチーム等の団体」へ寄付・寄贈する寄付型私募債は、県内に本店を置く金融機関で初めての取扱いとなります。

当行では今後も、地域の持続的な発展に貢献する商品・サービスの創出に努めてまいります。

注 2016年総務省統計局「社会生活基本調査」にて、1年間にスポーツを行った人の割合は全国2位

《寄付・寄贈先一覧》

項目	内容
スポーツ振興口	・公益財団法人埼玉県体育協会 ・スポーツ少年団等 ・ <u>スポーツチーム等の団体（今回追加）</u> （当行の営業エリア内に所在するプロ・アマチュアスポーツチーム、スポーツ団体、スポーツ協会等）
教育機関口	・学校教育法上の学校
地域振興口	・埼玉県文化振興基金 ・埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金（シラコバト基金）
社会福祉口	・SDGsの目標達成に取り組んでいる法人格を有する団体
平和たすけあい口	・こども食堂応援基金 ・埼玉県NPO基金（人権・平和）
環境資源口	・さいたま緑のトラスト基金 ・緑の募金 ・埼玉県農林公社 ・特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

本商品の詳しい内容につきましては、最寄りの営業店までお問い合わせ下さい。

報道機関からのお問い合わせ先

ソリューション営業部 法人営業グループ 前川 智美
TEL (048) 641 - 6111 (代)

以上